



支部だより

埼玉県支部

支部長 川上 茂

第40回記念埼玉県支部定期総会報告

10月23日(日)さいたま市南区にある「武蔵浦和コミュニティセンター」で、第40回記念埼玉県支部定期総会を開催しました。

総会支部長あいさつ(要旨)

天高く雲ひとつない秋晴れの素晴らしい総会日和になりました。

コロナウイルスの感染者数が、漸く少ない状態になってきたことはうれしい現象ですが、ここで安心せずにもう一度気を引き締めて予防対策に努力し「恐れず、慎重に」を心がけていきたいと思えます。

本年は、来賓として戸川達男会長、本部副会長兼東京支部長の村林信一さんの臨席をいただき、また、顧問の鳥井晋三先生にもご多忙の中お時間を割いていただき心よりお礼を申し上げます。

いつもお話しておりますが、この会は、皆さん心臓に不具合をお持ちになり心臓ペースメーカーやICDのお世話になっている者の集まりでございます。不幸にして同じようなご病気でお亡くなりになった方も多数いらっしゃいますが、私たちは運よく「選ばれて生かされている」のだと思えます。その事を肝に銘じて日常生活を意義深くそして充実した人生を大事に生きたいと考えております。

埼玉県支部会員の平均年齢も80歳台に近づき、体の問題や家庭の事情で思うように活動できない方も大勢いらっしゃいますが、役員会でいろいろと相談してなるべく多くの方のご参加をいただける行事を企画しております。昨年度は9月18日に3年ぶりに大宮で「ペースメーカー手帳の見方を中心に学ぶ」という題で、講師に田中秀明先生と島峰徹也先生をお招きして勉強会を開催しました。講師の先



生が質問者の席まで行かれて懇切丁寧な説明をいただきました。参加した皆さんは満足して帰路につかれました。

まだまだコロナの関係で思うように行事の開催ができませんが、会員の皆さんにホットな情報を提供するため「ミニ支部だより」の発行や役員が分担して一言コメントを付け加えたバースデイカードをお贈りしています。このカードは会員皆さんに大変好評で、私や担当役員宛にお礼の電話やお手紙を多数いただいております。

新年には全員に年賀状をお送りする予定です。これからも会員間の絆を太くそして強くするため、支部だよりによる情報提供・電話による意思の疎通・手紙の送付による励まし等、地道な努力を続けてまいります。

本日はスケジュールにありますとおり、総会終了後、支部顧問の鳥井晋三先生に「心臓デバイスで健康で長生きするために」と題してのご講演をお願いし、Q&Aも鳥井晋三先生にお願いしました。

Q&Aでは、会場でのご質問もお受けしますので遠慮なく発言してください。松本万夫先生は学会の日程とバッティングされて残念ですが、本日はご欠席です。

総会議事概要

平澤副支部長の開会のあいさつで始まり、物故会員に対する黙祷、支部長あいさつ、新入会員の紹介のあと総会議事に入り、川上支部長の議長で進められました。

第1号議案・令和3年度事業報告（水野理事）並びに収支決算報告（安井理事）・監査報告（高橋監事）、第2号議案・令和4年度事業計画（案）（水野理事）並びに予算（案）（安井理事）についてそれぞれ提案され、慎重審議の結果、提案どおり満場一致の拍手で承認されました。特に予算につきましては、支部年会費（10万円）、本部からの支部交付金（15万円）、皆様からの貴重なご寄付（18万円）の3本柱で約43万円の収入が支部活動の大きな資金源になっており、皆様に心より感謝申し上げます。



水野理事



安井理事



高橋監事

続いて第3号議案・支部役員の選任について、埼玉県支部役員名簿（案）を提案し、満場一致の拍手で承認されました。残念ですが永年支部活動にご尽力いただいた金子正子理事が10月3日に急逝されましたので、役員名簿からお名前を外してあります。

総会終了後、鳥井晋三先生にご講演「心臓デバイスで健康で長生きするために」とQ&Aの回答をお願いしました。中身の濃い講演会とQ&Aが行われ、総会行事を盛り上げていただきました。

